

大学入学共通テスト および 国公立大二次・私大

# 大学入試

分析と対策

2021  
令和3年度

# 英語

学校法人 河合塾  
英語科講師 江本 祐一

啓林館

この冊子の内容は次のURLからもアクセスできます  
<https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/kou/english/>

## (1) 概要

共通テスト元年となった2021年度の共通テストの第1日程（以下、特に断りのない限り、第1日程についての記述になっている）は、リーディングは全問読解問題となり、リスニングでは読み上げ回数が1回の問題も出題され、第2問、第3問では、センター試験ではほとんど意識することのなかったイギリス英語が出題されている。リーディング、リスニングとも、センター試験と比べると出題形式は多岐にわたるものであった。選択肢等を含めたリーディングの語数は5,478語で、2020年度のセンター試験と比べると1,000語以上増加している。リスニングの読み上げ語数は1,528語で、これは400語近くの増加である。「さまざまなテキストから概要や要点を把握する力や必要とする情報を読み取る力等を問う」「生徒の身近な暮らしや社会での暮らしに関わる内容について、概要や要点を把握する力や必要とする情報を読み取る力等を問う」という作成方針に沿った出題であるが、センター試験と比べると、受験生の負担感は増加したと思われる。マーク数は、リーディングでは54から47に減少し、リスニングでは25から37に増えている。大学入試センター発表の平均点は、リーディングが58.80点、リスニングが56.16点であった。2020年度のセンター試験の筆記、リスニングのそれぞれを100点満点に換算すると、58.15点と57.56点で、リーディングでは0.65点上がり、リスニングでは1.4点下がっているものの、大きな平均点の上下はなかった。

## (2) 筆記試験

## 第1問

A：携帯メール B：ウェブサイト

Aは寮に忘れたUSBメモリをめぐる携帯メールのやり取りの問題。問2の「USBメモリが見つかって安心した相手にどう返信するか」という問題は新傾向と言える。Bは好きなミュージシャンのファンクラブのウェブサイトの情報の読み取り問題。本文中の情報と表の情報を組み合わせて解決する。河合塾の再現答案分析では第1問全体の正答率は9割を超えている（以下、正答率について、河合塾の再現答案分析の数値を引用するが、先に述べた大学入試センター発表の平均点と比べると、河合塾の再現答案分析のリーディングの平均点は、10点近く高いことを断っておく）。

## 第2問

A：評価表 B：オンラインフォーラム

Aは学園祭での3つのバンドに対する3人の審査員のコメントと評価表を読み、5つの設問に答える問題。試行調査でも出題のあった「事実」と「意見」を区別する問題が1問ずつ出題されている。Bは学校の新しい方針について学生の載せた反対意見とそれに対する新校長の意見を読み、5つの設問に答える問題。ここでは「事実」を問う問題が2問出題されている。また、「新方針に反対する学生を支持するためにはどのようなことを調べればよいか」という最後の設問は新傾向。第2問全体の正答率は7割超である。

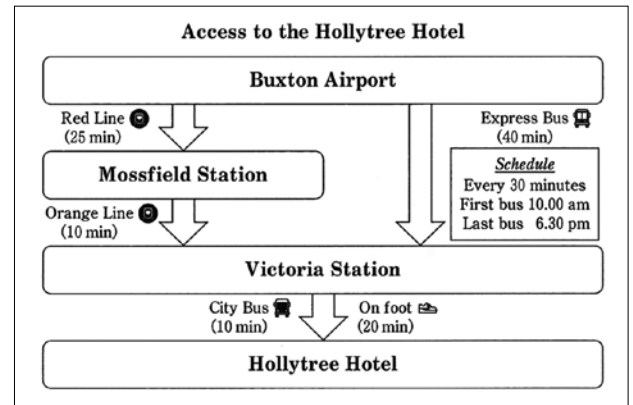
## 第3問

A：ウェブサイト上のQ&A B：学校新聞

Aはウェブサイト上でのイギリスのある都市のホテルの比較に関するQ&A、関連する案内図を読み取り、2つの設問に答える問題。問2の正答率は3割にも満たず、リーディングで最も低い正答率である。

問2 You are departing on public transport from the airport at 2.00 pm on 15 March 2021. What is the fastest way to get to the hotel?

- ① By express bus and city bus
- ② By express bus and on foot
- ③ By underground and city bus
- ④ By underground and on foot



2021年大学入学共通テスト 英語 筆記試験 第3問

案内図によれば、Buxton AirportからVictoria Stationまでは、Red Line → Orange Lineと地下鉄を乗り継げば、25分+10分で35分かかり、Express Busでは40分かかるとわかるので、まずはundergroundを選び、Victoria StationからHollytree Hotelまでは市バスが10分、徒歩が20分なので、city busを選んで、③を選択した受験生が3割を超えている。しかし、実際には、Answerの第3パラグラフ第4文Transferring to the

Orange Line for Victoria should normally take about seven minutes 「ヴィクトリア行きのオレンジラインへの乗り換えは通常7分かかるはず」より、地下鉄を選択すると25分+7分+10分で42分かかることになるので、高速バスのほうが早いことになる。また、Answerの第4段落第2, 3文 At Victoria, I found a notice saying there would be roadworks until summer 2021. Now it takes three times as long as usual to get to the hotel by city bus, 「2021年の夏まで道路工事が行われており、通常の3倍の時間がかかる」より、2021年5月15日時点では工事中で、市バスを使うと30分かかり、徒歩のほうが早いことになるので、高速バスと徒歩の組み合わせの②が正解となる。Answer本文に書かれている乗り換え時間に関する情報を読み飛ばすと④を選ぶことになり、道路工事に関する情報を読み飛ばすと①を選ぶことになり、どちらも読み飛ばすと③を選ぶことになるが、先にも書いたとおり、③を選んだ受験生が3割を超えていて最も多く、①は2割強であった。さまざまな情報源から必要な情報を読み取って、それを総合的に判断する能力を試せるように工夫された、いかにも共通テスト的な出題である。Bはボランティアを募集する学校新聞の記事を読み、3つの設問に答える問題。出来事を発生順に並べる問題(問1)や、記事を読んだ後どのような行動をとるべきかを問う問題(問3)などが出題されているが、出来事を発生順に並べる問題は正答率が5割を割っている。

**第4問 Eメール**

姉妹校からやって来る学生たちをもてなすスケジュールについて、スケジュールリングを依頼された学生と依頼主の先生のメールのやり取りと、添付の時刻表、及び水族館の混雑度を示すグラフを読み取り、5つの設問に答える問題。ここでも出来事を発生順に並べる問題(問1)が出題されているほか、手書きメモを埋める問題(問2)などが出題されている。メール、時刻表、グラフの3つの情報を考慮する必要があるが、先ほどの第3問A問2と比べると、どの問題も7割を超す正答率であった。この問題の場合は、明らかに複数情報を処理しなければならない、という気持ちで対処したのに対して、先ほどの問題ではそのような意識が薄かったことが原因なのかもしれない。

**第5問 ニュース記事とスライドの完成**

近所の農場で生まれた牡牛を買い取り芸を教えた女性に関するニュース記事を読み、プレゼンテーション用のスライドにまとめる問題で、5つの設問に答える。登場人物を整理する問題(問2)、出来事の発生順に並べ替

える問題(問3)などが出題されているが、この問3は4つの空所(32~35)に対して5つの選択肢が与えられている。該当するスライドにも空所は4つであり、このスライドのタイトルはPre-fame Storyline 「有名になる前のあらすじ」となっている。さらに、ダミーの②の選択肢はSabine and Aston travel hundreds of kilometers together.で、これは有名になってからの話。32~35の空所を④→③→⑤→①と、順調に並べた後、このスライドのタイトルと空所の数を確認せず、残った②を36にマークしてしまう、というミスが考えられ、実際にそうしてしまったために、この後の解答がずれてしまった、という受験生が私の担当していた生徒にもいた。最後まで解答したところで、マークの数が合わないことに気づいて、パニックになってしまったようである。設問をよく確認することの重要性を今一度確認したいところである。

**第6問**

A: 記事とポスターの完成 B: 論説文

Aはアイスホッケーの安全性に関する記事を読み、ポスターを完成させる問題で、4つの設問に答える。問3の正答率が4割程度であると同時に、現役生と卒業生で10ポイント程度の差がついている。

Solutions

National Hockey League (NHL)

- Requires helmets with visors
- Gives severed penalties to dangerous players
- Has introduced concussion spotters to 41

問3 Choose the best option for 41 on your poster.

- ① allow players to return to the game
- ② examine players who have a concussion
- ③ fine players who cause concussions
- ④ identify players showing signs of a concussion

**2021年大学入学共通テスト 英語 筆記試験 第6問**

第4段落第6文 If a spotter thinks that a player has suffered a concussion, the player is removed from the game and is taken to a “quiet room” for an examination by a medical doctor. 「監視人がある選手が脳震盪になっていると思う場合は、その選手はゲームから排除されて医師の検査を受けるためにquiet roomに連れて行かれる」より、④が正解。②「脳震盪を起こしている選手を検査する」はmedical doctorの仕事であるから誤りで

あるが、②を選んだ受験生が3割以上いた。Bは人工甘味料に関する論説文を読んで、4つの設問に答える問題。甘さの比較をする図を完成させる問題（問2）のほか、従来センター試験でも出題されてきたような、本文の内容に一致するものの選択（問3）や筆者の立場を選択する問題（問4）などが出題されている。一致するものを2つ選ぶ問3は、正答率が3割強と低調であった。ミスが多かったのは① Alternative sweeteners have been proven to cause weight gain.と、② Americans get 14.6% of their energy from alternative sweeteners.で、①は本文中に記述がない。②は第2段落第1文... 14.6% of the average American's energy intake is from "added sugar" ... 「平均的なアメリカ人のエネルギー摂取量の14.6パーセントは追加された砂糖からである」より誤りである。なお、この問題文は人工甘味料の危険性を論じたものであるが、複数の団体が、その内容の科学的信憑性について抗議する事態となっている。団体側は「実際に使われている甘味料が危険だと言っているように読め」、受験生に誤った印象を与える恐れがあり、過去問として使用しないよう要望している。今後の動向が気になるところである。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

第2日程は、問題数、マーク数は第1日程と同じで、総語数は5,311語でほぼ第1日程と同様であった。第1日程でみられなかった設問としては、第2問Aで、本文がなく3つの表だけを読み取る問題が出題され、第6問Aでは、記事の内容の要約文の補充問題（問3）が出題されている。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

総語数が5,000語を超え、さまざまな部分から情報を集めて正解を導き出さなければならない出題であるために、速読力が必要と言えるかもしれないが、内容理解を伴わない速読力には意味がないことは言うまでもない。まずは、文法的理解に基づいた正確な読解力を養い、語彙力を高めていくことで、自然に英文が正確に早く読めるようになる、ということを目指すべきである。また、従来のセンター試験に比べると使われている語彙も受験生になじみのないものが増えているが、全体の内容がわかれば問題にならない程度のものである。普段から、少しくらいならわからない単語があっても全体を読み切るようにトレーニングすることが必要であろう。

### (3) リスニング試験

#### 第1問

A：短文の内容一致 B：短文のイラスト選択

Aでは、短い発話を聞き、その内容と合っている選択肢を選ぶ問題が4問出題されている。聞こえた英語がそのまま正解になることはなく、言い換えたり、要約したりという、含意を理解する力が求められている。Bでは、短い発話を聞き、その内容と合っているイラストを選ぶ問題が3問出題されている。第1問は音声は2回流される。全体の正答率は7割を超えているが、問3、問4はいずれも正答率が3割台であった。

#### 第1問A

##### 問3

- ① Yuji is living in Chiba.
- ② Yuji is studying in Chiba.
- ③ Yuji will begin his job next week.
- ④ Yuji will graduate next week.

読み上げられた英文

M: To start working in Hiroshima next week, Yuji moved from Chiba the day after graduation.

##### 問4

- ① David gave the speaker ice cream today.
- ② David got ice cream from the speaker today.
- ③ David will get ice cream from the speaker today.
- ④ David will give the speaker ice cream today.

読み上げられた英文

M: I won't give David any more ice cream today. I gave him some after lunch

2021年大学入学共通テスト 英語 リスニング試験 第1問

問3は③が、問4は②が正解であるが、問3では①や④を選んだ受験生がそれぞれ3割近くいた。問4では③を選んだ受験生が3割を超えていた。時制を表す動詞や前置詞の聞き取りがうまくできなかったこと、放送された英文と正解の選択肢の英文の間にやや距離間のある出題であることが、正答率の低さの原因と考えられる。

#### 第2問 対話文に一致するイラスト選択

短い対話文とそれに関する問いと聞き取り、その答えとして適切なイラストを選ぶ問題が4問出題されている。音声は2回流される。比較的解答しやすく、第2問全体の正答率は8割を超えている。

#### 第3問 対話文の内容一致

短い対話文とそれに関する問いと聞き取り、一致する

選択肢を選ぶ問題が6問出題されている。第3問以降は音声流されるのは1回のみ。再現データでは、問13、問15の正答率が低く、問13は正答率は1割程度で今回最も正答率の低い問題であった。

### 第3問

問13 台所で夫婦が食料品を片付けています。

What will be put away first?

- ① Bags    ② Boxes  
③ Cans    ④ Containers

読み上げられた英文

M: Where do these boxes go?

W: Put them on the shelf, in the back, and then put the cans in front of them, because we'll use the cans first.

M: How about these bags of flour and sugar?

W: Oh, just leave them on the counter. I'll put them in the containers later.

2021年大学入学共通テスト 英語 リスニング試験 第3問

「何を最初に片付けるか」という問いだが、女性の最初の発言のput the cans in front of them, because we'll use the cans firstに影響されて、8割近い受験生が③を選んでいる。「缶が箱の前に置かれる」という内容から③を選んだ受験生もいれば、be put away firstとuse the cans firstが区別できず、単純にfirstという言葉から③を選んだ受験生もいると考えられる。

第4問 A: 図表完成 B: 複数発言からの判断

Aでは、説明を聞き取り、グラフの4つの項目を決定する問題が1問(4つで1問扱い)、表の空所を埋める問題が4問出題されている。グラフの項目決定は試行調査では出題のなかった設問形式。Bは4人の説明を聞き取り、示された条件に最も合うものを選ぶ問題。問22と問26の正答率が低い。Aの問22と問25は、一通りの説明が終わった後で、例外的扱いをするものに関する設問であり、問26は4人の発言を聞き比べたうえで最適のものを選ぶ設問で、複数の事柄を考慮しなければならない設問に対して、あまりうまく対応できなかったことがうかがえる。

第5問 講義

講義を聞き、ワークシートを完成させる問題、講義の内容一致問題、グラフを加味した内容一致問題が出題されている。問28、29の正答率が3割程度で、ワークシートを完成させる問題の正答率が全体として低い。

第6問

A: 対話文の内容一致 B: 対話文内容一致と図表選択

Aでは、2人の会話を聞き、それぞれの発話者の発言の要旨に関する内容一致問題が2問出題されている。Janeの発言の主旨を問う問34の正答率は3割強と低くなっている。①を選んだ受験生が約3割、②が約2割であるが、この問題も、ある1つの部分だけを聴き取れば正解が得られるものではない、という点が正答率の低さの原因であろう。Bでは、4人の会話を聞き、それぞれの発話者がレシートの電子化に賛成か反対かを判断する問題と、Lukeの発言を表している図表を選ぶ問題が出題されている。発話者が4人というのは、試行調査にもセンター試験にもなかった設定で、恥ずかしながら私自身、問36は確信をもって答えることができなかった。問36は正答率が1割程度である。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

第3問以降は音声1度しか流れないこと、単純にある部分が聞き取れば解答が得られるのではなく、発話全体からその趣旨を理解する必要があること、また、聞き取った内容を設問に合わせて整理し直して答えなければならないことなど、受験生の負担感はかなり増えているが、平均点をみる限りでは、100点満点換算の平均点は2020年度のセンター試験から1.4点しか下がっていないのは、ある意味で驚きであった。2021年度の現役受験生は、外部検定試験への対応をはじめさまざまな形式の問題への対応をする中で、リスニング力がかなり高まっていたからであろうと思われる。河合塾の再現答案データでの平均点の現浪比較でも、リーディングでは、卒業生に一日の長があり4.5点高いのに対して、リスニングではその差は1.5点であった。

あくまで個人的な意見であるが、共通テストに関する限り、リーディングもリスニングも出題レベルに大きな差はないように感じられる。そこで、リーディングの問題をリーディングの問題として扱った後、本文を音声化して、リスニング問題として活用する、といった対策が有効ではないだろうか。リーディングの英文は、分量は多いが、一度リーディング問題として扱った後であれば、リスニング対策として有効であるのではないかと思う。

## 2

## 国公立二次試験

### (1) 概要

2021年度の主要な国公立大学で出題形式や内容について目についたものを取り上げる。

東京大: 毎年のように出題形式に細かい変化がみられる

が、2021年度は2020年度とほぼ同じ形式の出題であった。私個人は1(A)の要約問題に手こずった。河合塾の再現答案分析によれば、4(A)の25(誤文指摘)と5(C)(語句整序)の正答率が、いずれも2割前後と低くなっている。

**京都大**：2015年度以降出題形式が毎年変わっているが、2021年度も同様で、読解問題では2020年度と正反対の構成、つまり、下線部和訳問題が4問、説明問題が1問という出題で、ある意味で昔の京都大に戻ったような出題であった。特にⅡは19世紀末の英文からの引用(一部リライトあり)に設問が集中しており、重厚な問題となっていた。合格者に話を聞いても、できた気がしなかったとのことである。Ⅳの自由英作文は2018年度以来の会話文の下線部補充問題。語数指定がついたのは初めてで、8語以上12語以下、12語以上16語以下など微妙な数字で細かい指示がついているが、これは1行に4単語書ける形の解答用紙になっているためである。

**北海道大**：2020年度から出題形式に変化はなく、従来から出題されている③読解問題と英自由英作文の融合問題、④会話文の要約問題も出題されている。

**東北大**：2020年度同様に下線部和訳と日本語による内容説明の問題が出題の中心。Ⅲの自由英作文が対話文の読解問題との融合で出題されている点は変わらないが、表の情報をもとに自分の意見を述べる問題が出題された。Ⅳの和文英訳問題では、与えられた日本語の意味をしっかりと理解したうえで英訳が必要な、かなりの難問が出題されている。

**一橋大**：従来2題あった長文問題が1,500語近い1つの長文問題に統合された。また、ここ数年出題形式が変わっている自由英作文は、3つのことわざから1つを選んで説明する問題になった。

**名古屋大**：Ⅰの長文中に40語で自分の意見を述べる自由英作文が出題された結果、Ⅲの対話文に関する自由英作文、Ⅳのグラフを用いた自由英作文と合わせて、自由英作文が3題出題された。

**大阪大**：いろいろな大学で出題形式が変わる中、際立った変化のまったくない出題が続いている。2021年度も同様であった。年々②の読解問題が取り組みやすくなっている印象。ただし、Ⅰの下線部和訳問題は2020年度と同様に難問であった。

**広島大**：大問数が5題から4題になり、会話問題がなくなった。Ⅰは例年通りの要約問題だが、2021年度は各パラグラフを30字以内でまとめるという新しい形

式になった。Ⅱの読解問題では、「古代壁画の年代測定」「人間の想像力の起源」という2つの英文を照合しながら読ませるといった意欲的な新形式の問題が出題された。2つ合わせて1,200語を超え、いずれも専門的な内容の英文だった。例年社会問題を扱うことの多かった自由英作文だが、今年度はⅢ「電動アシスト自転車の利用」、Ⅳ「うどんを含む投稿の時間帯比較」というテーマでの出題だった。

**九州大**：2020年度に出題された英文での要約と意見を述べる融合問題の出題はなくなり、読解3題、自由英作文1題、和文英訳1題という従来のに戻った。

その他の大学では、金沢大、小樽商科大は解答用紙には英語以外書くことのない出題が続いている。名古屋工業大では、合教科・合科目的な問題として、数学と英語の合教科を意識した出題が続いている。また、神戸大では、2020年度は自由英作文が組み込まれた長文3題の出題だったが、2021年度は英作文が独立して、長文3題、英作文1題の従来のに戻った。また長年出題されてきた小説文はなくなり、アメリカの大学院の授業での議論という形式の対話問題が出題された。

## (2) 読解問題

下線部和訳問題の比重はここ数年減少傾向にあるとは言え、主要な国公立大では必須の出題形式である点に変わりはない。京都大のⅡの下線部(b)を紹介しておく。久しぶりにかなりの難度の和訳問題の出題がされている。

(b) And this explains, what would otherwise be inexplicable, the surprising ease and passion with which men wholly incompetent to appreciate the evidence for or against natural selection have adopted or "refuted" it. Elementary ignorance of biology had not prevented them from pronouncing every confidently on this question; and biologists with scorn have asked whether men would attack an astronomical hypothesis with no better equipment. Why not?

解答例

そして、このことにより、他の方法では説明がつかない事柄であろうが、自然選択を裏付ける、あるいは、それに反する証拠を理解することが全くできない人たちが、なぜ驚くほど容易に、そして情熱的に自然選択を受け入れるか、

またはそれに「反駁」してきたのかの説明がつく。生物学の基本を知らないからといって、こうした人々がこの問題について大いに自信をもって公に意見を述べることの妨げとはなっていないのだ。そして、生物学者たちは、これと同程度の知識しかなくて、人々が天文学の仮説に取り組むだろうか、と軽蔑したように問うてきた。どうしてそうしないのだろう。

挿入されている what would otherwise be inexplicable の処理, the surprising ease and passion with which ... の理解, incompetent や refute などの語彙, with no better equipment が no 比較級 (than ...) の表現であることの把握, その後の文脈を踏まえた Why not? の訳出など, なかなかの難問である。

### (3) 表現力

昨年度、「読む・書く技能の統合」を意識した問題が減少傾向にあると書いたが、2021年度は長文読解や対話文問題に自由英作文を組み込んだ融合問題が増えている印象である。全体としてみると、従来型の和文英訳問題よりも自由英作文の問題の出題のほうが多くなっている。ただ、2021年度の現役受験生を高2、高3と見てきた印象では、確かに自由英作文の問題に対しては以前の受験生のような抵抗を感じることなく取り組むが、以前の受験生と比べると英語表現の力そのものは低下している印象であった。高等学校の先生方に話を聞くと、まず自由英作文の指導から入り、和文英訳の指導は高3になってから、との話を聞き、軽い衝撃を覚えた。和文英訳は自由英作文で正しい英文を書くための前提と言えるので、従来型の和文英訳の練習も不可欠であろう。

## 3

### 私立大学

私立大学の出題形式は大学や学部で千差万別であるが、読解問題では、空所補充、下線部の言い換え、内容一致などが出題の中心である。また、慶應義塾大、早稲田大などを中心に一部の難度の高い大学で、主に「読む・書く」を中心とした技能統合問題が出題されている。空所補充や言い換え問題では、単語や熟語等の語彙的知識をそのまま問う場合と、文意を把握したうえで未知の（あるいは難解な）語句の意味を推測する必要がある場合があるので、基本的な語彙力を強化し、英文内容の理解力を高めておく必要があるという点では、国公立

大学の場合と違いはない。国公立大・私大を問わず、読解問題の長文化が進んでいるが、客観問題中心の私立大の問題は1題の英文量が多いだけでなく問題数が多いのも特徴で、限られた時間で設問に答えるトレーニングが絶対に不可欠である。また、ある意味でトリッキーでパズル的な、言いようによっては運に左右されるような問題が出題されることもある。いずれにしても、大学間で出題形式に大きな差がある。安易に過去問中心の学習を進めることはできないが、ある程度基礎的な力を身につけたら、過去問演習を中心に学習を進めるべきであろう。ただし、過去問がもう一度出題される可能性はないと言っていいので、その大学の出題傾向に似た他大学の過去問、特に難度の高い大学の読解問題対策としては、過去問に出典として挙げられている出版物なり、ウェブページなりにあたってみるのもいいかもしれない。

#### 江本 祐一（えもと・ゆういち）

東大、京大、医進の授業を中心に担当。長文読解や京大系のテキスト、京大オープン（第2回チーフ）作成に携わる。出版物は「英語暗唱ターゲット450」（旺文社）、「入試英単語の王道」（河合出版・共著）など。



—— 知が啓く。——

啓林館

URL <https://www.shinko-keirin.co.jp/>

令和4教 内容解説資料

本 社	〒 543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3番25号	電話(06)6779-1531	FAX(06)6779-5011
東京支社	〒 113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	電話(03)3814-2151	FAX(03)3814-2159
北海道支社	〒 060-0062	札幌市中央区南二条西9丁目1番2号サンケン札幌ビル1階	電話(011)271-2022	FAX(011)271-2023
東海支社	〒 460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目15番20号ie丸の内ビルディング1階	電話(052)231-0125	FAX(052)231-0055
広島支社	〒 732-0052	広島市東区光町1丁目7番11号広島CDビル5階	電話(082)261-7246	FAX(082)261-5400
九州支社	〒 810-0022	福岡市中央区薬院1丁目5番6号ハイヒルズビル5階	電話(092)725-6677	FAX(092)725-6680